

# すくすく おっぱい通信

第24号

令和元年9月号

## 母乳シンポジウムに参加してきました

8月が過ぎ、夏の暑さから秋の涼へと移行行く季節になってきました。皆さま8月はいかがお過ごしでしたでしょうか。歴の上では既に秋ですが9月はまだまだ暑いです。夏の疲れと残暑により体調を崩さないようにご自愛ください。



今年のシンポジウムは札幌で開催されました。日本各地のBFH認定施設が参加しました。

研究発表やシンポジウムでは、母乳育児支援だけにとどまらず、母子を大きく包み込む支援について考えていました。近年問題になっている産後うつについても、精神科医や行政の方から発表がありました。そのお話しから、「病気のせいで上手くいかないだよ」「いつでもSOSを出していいんだよ」と伝える事が大切ということが分かりました。そのことから、私たち助産師は、お母さんが安心してSOSを出せる存在になることが必要だと痛感しました。

当院は2016年から3年間の活動報告をパネルで発表しました。他施設の方と意見交換をしたり、現状の悩みを共有したり、交流を図りました。どの施設も母乳率の低下やお母さんへの支援のあり方などに悩み、試行錯誤していました。お母さんと赤ちゃんにとってどんな支援が必要なのか、どのようにアプローチすればいいのか、を真剣に考えていました。その情熱は素晴らしいと思うと共に、自分自身もモチベーションがアップしました。

5西病棟 師長 梅原 あゆみ



SOS  
だせる相手は  
誰ですか

5西病棟 広報担当